

震災の思い 打ち明けて

みやぎ防災・減災円卓会議



ゲームを通じて災害に備える取り組みを紹介するわしん倶楽部の田中代表（左）

来年1月、とことんトーク

いのちと
地域を
守る

東日本大震災の教訓伝承

と防災啓発を目指す連携組織「みやぎ防災・減災円卓会議」の例会が21日、仙台市青葉区の河北新報社を拠

点にオンラインとの併用であり、震災について語り合う「とことんトーク」を来年1月21日に開催する方針を決めた。

とことんトークは震災当時の参加者自身の状況や思いなどを打ち明け合って共有し、今後の防災などにつ

なげる試みで、2021年1月に初開催。今年1月に予定していた2回目は、新型コロナウイルスの流行「第6波」のため延期している。

このほか、コロナ禍で実施できていない「防災運動会」を来年4月以降に復活させる方針を確認。宮城県が公表した新たな津波浸水想定について、円卓会議として理解を深める方策も検討する。

例会では、市民団体・わしん倶楽部（仙台市）の田中勢子代表が災害対応ゲーム「クロスロード」や非常食を持ち寄ってポリ袋で料理を作る「もちより食堂」などの取り組みを紹介。「何でも体験してみることが（備えには）大切」などと訴えた。

東北地方整備局による「防災教育の推進」に関する報告もあった。